

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門 建設部門
問題番号		選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

(1) 調査、検討すべき事項とその内容

① 地域の状況 ①： 地域の歴史的な形成過程、土地・建物
の所有管理状況、産業の状況、交通動向を調査する
 ②。 既存のアンケート等の資料も有無を含めて調査する
③。交通の将来予測も整理する ④。

- ① さすがに抽象的すぎます。状況把握とはすなわち調査事項なわけですから、もっと細分化する必要があります。
- ② ①のとおり、細分化する必要があります。3D 都市モデルを活用することを踏まえると、現況空間構成の把握、人流・交通・滞留状況の分析、災害リスク・バリアフリー・景観等の評価などが考えられます。
- ③ アンケートを行うのではなく、過去データを調べるということですか。記述の意図と目的がよく分かりません。
- ④ 予測を整理とはどのような行動なのか分かりません。また、これは前述にある交通動向に含まれるではありませんか。とにかく、このパラグラフは、バラバラな印象を受け、項目（調査・検討事項）としてまとまりがありません。

② 上位関連計画： 都市計画マスタープラン、立地適正化計画、地域公共交通計画、都市再生整備計画等の上位
関連計画を整理する ⑤。

- ⑤ 問われているのは、調査・検討事項です。文末は「調査する」ですね。

③ 関連組織： 交通事業者の協議会等、既存の組織体を
調査する ⑥。

- ⑥ 調査目的がよく分かりません。調整対象者を把握するためなら、タスクとして些末に感じます。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号										技術部門 建設部門
問題番号										選択科目：
答案使用枚数	枚目				枚中					専門とする事項：

[illegible]

- ⑦ 基礎データの整理とは何を行うのでしょうか。問題で最も重要な要素は、3D 都市モデルを活用することですから、データを収集したら駅前広場・道路空間の 3D モデルを構築することがここすべき、整理なのではありませんか。最も大事な要素が欠如しています。
- ⑧ 入手の工夫であり、整理の工夫点になっていません。そもそも、「ないものは民間から入手」といった記述は工夫点と言えるのか、また技術的な内容とは言えず技術士論文の工夫点としてふさわしいか疑義があります。3D モデルを構築することが前提なのですから、3D 都市モデルに関連した工夫点であることが望まれます（LOD 選定（詳細度）、属性情報の付与など）
- ⑨ 行動の目的も分からなければ、なぜ工夫点と考えたのかも分かりません。さらに、位置情報とは何を指しているのでしょうか。回答者の居住地ですか？説明不足です。意見やニーズの分布傾向を可視化するといったことですかね。とにかく内容が分かりづらく、工夫点なのか判断できません。

[illegible]

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号											技術部門 建設部門
問題番号											選択科目：
答案使用枚数	枚目					枚中					専門とする事項：

⑩ これも 3D 都市モデルを活用するといった視点が欠如しています。また、構想作成上の課題ではなく、都市空間再構築に向けての課題ではありませんか。これらの課題を整理する上でも、次なるステップは、空間解析（GIS・シミュレーションにより人流・交通・災害等の分析）などが必要なのではありませんか。

⑪ データの重ね合わせという 2 次元でのレイヤーということですかね。そうすると、3D 都市モデルの特徴が生かされておらず、題意に即していないと思います。

③ 再構築の方向性、目標の検討
再構築の方向性及び目標を検討する。将来予測を元に複数パターンを検討し、比較できるよう工夫する⑫。
既存計画における将来整備方針と整合するよう留意する⑬。

⑫ 将来予測とはなんですか。前のステップでシミュレーション等をしているのなら分かりますが、そもそも将来予測ステップがありません。しかも、何を比較するのかも分かりません。説明不足です。

⑬ 一般的な留意点であり、PLATEAU VIEW 等を活用など、もっと 3D 都市モデルをフィーチャーすべきです。

④ 具体策の整理
目標の実現のための具体的な方策を整理する。方策の実現に向けたステップを 3D モデル上で時系列に示す等の工夫をする⑭。市民への説明会や web でのアンケート等を行い、市民意見の反映を行うことに留意⑮する。⑯

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号											技術部門 建設部門
問題番号											選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中										専門とする事項：

- ⑭ やっと 3D 都市モデルを活用した工夫点が出てきました。これはとても良いです。
- ⑮ これは留意点というより、合意形成という一つの手順であるように感じます。
- ⑯ 問題には基本構想を作成するまでの手順とありますので、最後のタスクとして「基本構想の作成」という手順の記載が必要です。

(3) 関係者との調整方策

① 庁内他部局
計画策定には都市、交通部局のみならず、企画、産業振興等多くの部局が関連する。そのため定期的に検討会議を開催し意見交換する⑰ことで効率的となる。

⑰ 間違いではありませんが、やはり技術的視点に欠けています。PLATEAU VIEW や WebGIS を活用した情報共有環境を構築するなど、技術的示唆に富んだ記述が求められます。

② 協議会
計画には交通事業者等を含めた多くの事業者が関連するため、協議会等を活用して協議の場を設ける⑱。
データのやり取りが生じると考えられることから、あらかじめデータ利用やセキュリティの考え方についてガイドラインを関係者間で共有しておくことで効率的となる⑲。

⑱ 前項と同じような方策であり、対象者の特性に応じた方策の提案が求められます。

⑲ これはセキュリティが高まるのであって、効率化される理屈が分かりません。

③ 都市計画審議会、景観審議会等
都市計画審議会、景観審議会等に事前に情報共有し

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号											技術部門 建設部門
問題番号											選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中										専門とする事項：

計 画 、 外 観 の 観 点 で 意 見 を 得 る ⑳ 。 以 上

⑩ 都市計画審議会は、都市計画を定める際に、その内容を調査・審議する機関です。都市計画の変更が伴うのでしょうか。ただのアドバイスをもらうということで、同組織を活用するのはいかがなものなのでしょうか。

[illegible]